

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 007	提案機関名 横浜農業協同組合
要望問題名 ナシ基肥の全量春施用による減肥の可能性について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ・近年、年によって発生するナシ園における春の芽枯れや発芽不良を防止するため、従来11月～12月に施していた元肥を年明けの2月～3月に変更する施肥時期見直しを行っています。 ・このことにより、冬季の肥料分流出が減少し、年間施肥量を減らしても従来通りの栽培が可能であれば、コスト軽減に結び付くと思われます。 ・そこで、施肥時期の変更による減肥の可能性を検討していただきたいと思います。 ・将来的には施肥体系の見直しも視野に入れていただきたいと思います。 ・対象地域は横浜市全域（50ha：1100t）	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) Ⅱ2(1) 主要作物の高品質・安定生産技術の開発 エ 果樹の高品質・安定生産技術の開発		
対応の内容等	上記試験研究課題の中で令和6年度から供試可能な樹齢10年程度の「幸水」を用いて肥料試験を実施します。		
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			